



執行役員
コーポレートコミュニケーション部長
長谷川 直和 氏

～次代に向けた企業価値創造へのチャレンジ～

会社概要

● DyDoグループの概要

- ・DyDoグループは、「ここからからだに、おいしいものを。」のスローガンのもと、ダイドードリンクが担う国内飲料事業を中核事業とし、ドリンク剤・美容ドリンク等のOEMを展開する医薬品関連事業、フルーツデザートゼリーのたらみが担う食品事業を展開しています。
- ・近年は海外飲料事業を強化し、2016年にトルコ・マレーシアへ進出。国内飲料事業とのシナジーを発揮し、育成を図っていきます。
- ・現在、5カ年の中期経営計画「Challenge the Next Stage」を推進中で、最終年度である2019年度1月期に売上高2,000億円、営業利益率4%をめざしています。

国内飲料事業

● ダイドードリンクが担うグループの中核事業

- ・全国に28万台の自販機を展開。国内飲料事業の売上高の80%以上が自販機によるもので、商品別ではコーヒーが50%以上を占めるなど、業界でもユニークなポジションを確立しています。
- ・自販機は「自分たちの店舗」と位置付け、「ルーレット機能」や「おしゃべり機能」などの楽しさや環境への配慮への徹底を、缶コーヒーは、「香料無添加」であることに創業以来こだわっています。
- ・ファブレス経営で、キャッシュインカム先行型のビジネスであり、盤石な財務基盤を築いています。

● 自販機ビジネスの変革により、キャッシュフローの継続的拡大をめざす

- ・近年は、自販機1台あたりの購入額の削減、使用年数長期化の取り組みを進め、固定費を大幅に低減しています。
- ・2016年4月に、自販機とお客様を繋ぐ、スマートフォン向けアプリ「Smile STAND」の展開を開始。将来的には、ネットワークでつながった全国の自販機を活用し、IoTプラットフォームへの進化をめざしています。

医薬品関連事業、食品事業、海外飲料事業

● 高い営業利益率を誇る医薬品関連事業

- ・大同薬品工業が、ドリンク剤の共同開発・製造受託をする取引先は大手の医薬品メーカー・化粧品メーカーを中心に100社以上、ドリンク剤受託製造の市場でトップシェアを誇ります。
- ・2020年には関東への工場新設を予定し、さらなる競争力の強化を図ります。

● 業界トップシェアのフルーツデザートゼリー「たらみ」

- ・2012年にグループ会社化したたらみは、ドライゼリー市場で圧倒的なシェアを確立しています。
- ・今後も商品の付加価値向上とともに、新たな市場・販売チャネルを開拓していきます。

● 強化・育成を図る海外飲料事業

- ・2016年に、現地の飲料製造販売会社のM&Aにより、トルコ・マレーシアに進出し、イスラム圏における戦略拠点を獲得しました。
- ・今後大きな成長が見込める各国の飲料市場で、市場平均を超える成長をめざし、強化・育成を図っていきます。

今後の戦略、配当方針

● 永続的に発展する企業グループへ

- ・自販機ビジネスモデルの革新により創出したキャッシュを元に、「食と健康」分野への戦略的事業投資を行い、新たな事業の柱を確立するとともに、国内飲料事業で培ったノウハウを海外飲料事業に活用し、強化・育成を図ることで、永続的に発展する企業グループをめざしていきます。

● 高い評価を受ける株主優待制度

- ・現在は、「次の成長に向けた投資の時期」と位置付け、配当については、安定的に配当する方針とし、2018年1月期は1株あたり60円(年間)の配当を予定しています。
- ・株主優待として、3,000円相当の自社グループ商品の詰め合わせを、100株以上保有の株主さまへ年2回進呈するほか、すべての株主さまへ、専用サイトでグループ企業の商品を優待価格で販売しています。